

海外調査訪問先及び調査事項（案）

韓国・中国

日 程： 9 月 15 日（月）～9 月 19 日（金）

訪問先： 1 ）政府記録保存所閲覧所（ソウル）

2 ）政府記録保存所本所（テジョン）

3 ）中国国家档案局（北京）

4 ）中国第一歴史档案館（北京）

5 ）北京市档案館（北京）

アメリカ・カナダ

日 程： 9 月 29 日（月）～10 月 4 日（土）

訪問先： 1 ）アメリカ国立公文書記録管理局本館（NARA）（ワシントン DC）

2 ）NARA 新館（メリーランド州カレッジパーク）

3 ）NARA ワシントンレコードセンター（メリーランド州スートランド）

4 ）カナダ国立公文書館（オタワ）

< 共通質問事項 >

1) 概要

施設、組織、法制、所蔵資料等

2) 現用記録管理

現用文書管理に対する公文書館の権限と関与

各行政機関の文書管理規則と公文書館の関係

各行政機関の文書管理担当者へのトレーニング、教材

情報公開法の公文書館への影響

3) 移管システム

概要

各行政機関からの資料移管の年間スケジュール

国の公文書の保存廃棄の具体的な手順：どのように保存年限基準を定め、実際の文書にあてはめていくか、など

司法、立法機関の公文書の扱い

外交、防衛関係文書の扱い

4) 職員および外部アーキビストの教育

現職アーキビストの数、職制、学歴、研修歴等

スタッフトレーニング、教材

外部アーキビストの養成教育、教材

アーキビストの専門知識の養成プロセス

専門職団体との関係

5) 利用者サービス

目録データベースの現状、将来計画

展示、HP の企画運営

資料の公開制限：特に個人情報等の公開について

6) 地方公文書館、国の機関、民間の公文書館との連携

国内の総合的資料所在目録に関するプロジェクトはあるか

7) デジタルアーカイブの現状と今後の計画

8) 電子文書の保存対策

9) 国民に対する公文書館制度のアピールのしかた

< 国別質問事項 >

韓国 政府記録保存所

1) 公共機関記録物管理法 (1999) について

概要、解説

制定の背景

法律の施行状況

2) 資料館 (韓国の中間書庫) の機能

3) 新館建設計画について

中国 国家档案局・中央档案馆

1) 档案局と档案馆の関係

2) 国の機関や党の記録がどの档案馆に移管されるか

3) 全国約 4,000 ある档案馆の役割分担、相互関係

4) 省・自治区・直辖市レベルの档案局が行う国以外の集団及び個人が所蔵する档案の評価選別基準

5) 目録記述について、国内標準があるか、あるとすればその標準と国際標準 ISAD (G) との関係

アメリカ 国立公文書記録管理局

1) 立法公文書センターの機能

2) 保存年限基準表 (Retention Schedule) の決め方

3) 本館改築の概要、趣旨、新展示のコンセプト

4) 職員の組織別人数構成 - どのような仕事にどれだけの人数が配分されているか

5) 州立公文書館と NARA の関係、法制的違い等

6) ERA プロジェクトの詳細と今後の展望

(実施主体、基本的な考え方及び計画、特に Migration の問題、現在の進捗状況、今後の検討課題、財政負担等)

7) デジタル情報化が進展する中での今後の議会図書館との関係

カナダ 国立公文書館

1) 国立公文書館と国立図書館の合併について

2) カナダジニオロジーセンターの活動

3) 外部から収集する資料の収集基準